

# 「子・孫のため行動」

「原発やめ再生エネがいい」



「原発なくせ」とコールしてアピールする人たち=26日、東京都渋谷区

## ノーニュークスデイ大集会

原発ゼロを求める統一行動「ノーニュークスデイ」が26日、代々木公園(東京都渋谷区)で開かれました。「原発のない未来」「つなごう福島」などと書かれたプラカードで埋め尽くされた会場。団体のブースも立ち並び、外国人の姿も目立ちました。

福島県農民連のメンバーと参加した同県大玉村の菊地穂奈美さん(27)は、「福島に住む友人が再稼働は仕方ないと言っけれどさみしいです。原発事故を経験した福島だからこそ再生可能エネルギーをもっと増やしたい」と語りました。

松山市から医療生協の仲間4人と参加した木村紀子さん(56)は、原発反対の寄せ書きで埋まったオレンジ色の布を身にまとい参加しました。「伊方原発1

号機廃炉の決定はいいことだと思えます。古いので動かさないほうがいい。子どもや孫のためにおとなが行動しなければいけません」

東京都目黒区から参加した堀田綾さん(47)は「親が福島県いわき市に住んでいます。事故前は海で子どもたちを遊ばせることができましたが、今はできません」と悔しさをにじませました。

静岡県三島市から大型バスで参加した杉山かほるさん(42)は「原子力規制委員会の新基準は国民を守るための基準ではありません。高浜原発の差し止めを決めた大津地裁の決定には勇気をもらいました。浜岡原発が一番危ない原発といわれています。私たちもがんばらないといけない」と語りました。

アフロのかぶり物とドラムを持って横浜市民金沢区から参加した生田明さん(66)は、「国民の多数は原発を止めるといふ流れです」と話しました。

岩手県亘古市から参加した伊藤香苗さん(36)は4歳の子どもをベビーカーに乗せて参加しました。「子どもたちの将来のためにも原発はやめてほしい」

岡山市でろう学校の教員をしている青山敬さん(57)は「原発事故の総括もせず、政府は安全というだけ。信頼できない。原発のコストは安いと言われるけど、処分場のことを考えれば安くはないです」と話しました。

ドイツからの留学生で横浜市に住むティナ・ヒューゲルさん(28)

は日本の社会運動を研究しています。「日本は地震が多いので原発を稼働させることは危ないです」

同じく留学生のマリ

ア・ブレイデルさん(29)は「原発の問題は議論が難しい問題です。原発に安全はありません」と語りました。

3/27 系波